

心のお便り

折尾高校修学課 vol. 7 R5.10.31

【思うがままに服を着る。それはあなたが自由である証。】

日本中を飛び回って、女性の体型に合わせたメンズパターンのオーダースーツを提供している「keuzes (クーゼス)」という会社があります。FtX (出生時に割り当てられた性は女性だが、特定の性別を自認しない) 当事者でもある田中史緒里さんが立ち上げたアパレルメーカーです。「keuzes」はオランダ語で“選択肢”

という意味。田中さん自身が感じていた「服を選ぶ際にもっと選択肢があれば」という想いが込められています。

先日、「keuzes」代表の田中史緒里さんとフィッターの大花ちなみさんにお会いする機会があり、たくさんのお話を伺いました。「私も何か行動したい!」というエネルギーが湧いてくるようなお話でした。折尾高校のみなさんにも知ってほしい、そして自分に何ができるかを一緒に考えてほしいと思います。少し紹介します。

高校生になって、友人たちが成人式のために髪を伸ばし始めた時、田中さんは「振袖は着たくない」「自分は成人式に何を着ていけばいいんだろう…」と悩んだそうです。私服なら自由に選べるのに、成人式のようなフォーマルな場面では服装選びが難しい。レディースのスーツは身体のラインが強調されているものが多く、抵抗がありました。メンズスーツを購入するにも、店舗で『メンズスーツがほしい』と言ったときの店員さんの反応や、知り合いが店舗にいるかも…と考えると、店舗に足を運ぶ決心がつかず、成人式自体を諦めたそうです。

その後友人の結婚式に招待された時にも、服探しに苦労しました。おめでたいはずの場面で、なぜこんなに服装のことで悩まなければいけないのか。田中さんが、友人や知人にそんな悩みを打ち明けると、同じように冠婚葬祭や就職活動で服装に困っているという声を聞くようになりました。

「どれだけの人が服装のことで何かをあきらめているんだろう。探しても見つからないのなら、自分がつくるしかない!」と思った田中さんは、まずは自分のために、「女性が着てカッコいいメンズスーツ」をつくる会社を立ち上げたのです。

お客さんから、購入後もいろんな報告が届くそうです。あるお客さんは、それまで自分のジェンダーについて、友達にも親にも話したことがありませんでした。「keuzes」のスーツと出会い、親に初めて「成人式には振袖ではなくスーツを着たい」と打ち明けることができたそうです。「スーツ姿を両親に見せたらすごく喜んでくれたし、周りの友達も褒めてくれた。隠すことなく自分自身の話ができるって、こんなに楽なんだと知る機会になりました。他人を信じて伝えることの大事さを知ることができました。」という連絡があったそうです。「自分のために始めたことが、いろんな人の力になっていると実感することができて、すごく嬉しかったです」「メンズスーツを着こなしている人たちの姿を見て、カッコいいとか、性別に関わらずこういう服装をしていいんだと思ってもらえるきっかけになれば。」「ファッションには、それを着て外を歩く人が世の中を変えていく力があると信じています。」と田中さんは言っていました。

【#しかたなくない】

田中さんたちの事業は、ジェンダーに関することに限らず、これまでいろんな人が自分のせいではないことで何かを諦めたり「しかたがない」と思ったりしてしまっていたことに対して、「それは『しかたなくない』よ!」と気づかせてくれるような力を持っています。私も、「自分にもできることがある」と「考え、行動するきっかけ」をもらったなあと感じました。

すごい行動力だなあ、私にはできないなあと思うかもしれませんが、でも田中さんも、中学校や高校の頃は「周りからどう見られるか」「いじめられないようにしよう」とばかり考えていた時期があったそうです。社会に出てからいろんな人に出会い、困っている人の話を聞き、どうすれば困っている状況を変えられるかをみんなで考え続けたことが、今の姿なのだそうです。

また、こんな話もありました。「当事者の人たちって、見えないストレスをいろんなところで感じてるんですよね。でも多くの人にわかってもらうためには、当事者の人たち側からとんでもない勇気を出して「私はこうなんだ」って言わないといけない。そんな状況ってなんなんだろうって疑問に感じています。今声をあげてる人は、なにかしら辛いことがあったって人が少なくない。そんな中で勇気を出してすごいことをしてると思うんですよね。だから、当事者じゃない人たち側の理解が深まって、当事者の人たちが何もしなくても理解されるようになっていけたらいいと思うんです。世の中の人たちに向けて我々が理解を深めるような形で動いていきたいと思うから、当事者の人たちは自分らしく生きてほしいなと思っています。」

11月6日6限のHRは、人権教育特設授業です。各学年、皆さんが「当事者の方の思い」に出会えるような、「自分にできることは何だろう…」と考えてもらえるような授業を企画しています。ぜひ皆さんの意見を聞かせてください。

